

# 心身健康学専攻

—学位授与・教育課程編成・入学者受入れの方針—

## 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

### 【学位授与の前提となる教育理念】

こころと身体の健康と人間を取り巻く環境との相互作用についての専門的な知識や技能を身につけ、健康や生活のあり方について考え、よりよい生き方や環境のあり方を提案することにより社会に貢献できる人材を育成します。

### 【身につけるべき力】

- ・こころと身体の健康について、専門的な知識を身につけている。
- ・専門分野での研究を推進するための科学的・論理的思考と方法論を身につけ、実践できる能力を身につけている。

### 【学位授与の要件】

上記の資質を身に着け、所定の期間在学し、所定の単位を習得し、かつ必要な研究指導を受けたいうえて修士論文の審査に合格した学生に修士（学術、生活環境学、家政学のいずれか）の学位を授与します。

## 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

### 【基本的なカリキュラム構造】

学生は履修系列として高度な専門能力を養成する専修系、広い視野を備えた人材を養成する複合系のいずれかを選択します。教養科目群では大学院生に必要な教養を培います。本専攻は3つのコースに分かれており、各コースで開講される講義や演習を通して専門性の高い教育が行われるとともに、修士論文の執筆にむけ、研究指導、執筆指導を行います。また、専攻の共通科目が開講され、全てのコースの人がこれを履修することにより心身の健康に関する幅広い知識を身につけることができるようになります。さらに生活環境学部からの6年一貫教育プログラムでは、学部から修士論文作成まで継続的に研究を行い、質の高い修士論文を目指すとともに、留学など学外での学修を自ら柔軟に設計することが可能です。

### 【教育の内容と方法】

本専攻では、生活健康学コース、スポーツ科学コース、臨床心理学コースの3つのコースがあり、それぞれの視点でこころと身体の健康についての講義や演習が開講され、それぞれの分野の専門知識と研究手法を身につけた人材を育成します。

### 【学習成果の評価】

授業形態に応じて、授業毎に設定された評価方法で評価を行います。評価の方法についてはシラバスに明示してあります。

## 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

### 【教育理念】

心身健康学専攻は、心と身体の健康と人間を取り巻く環境との相互作用について学び、高度な科学研究の成果を応用して健康で安全な生活を実現するための知識と技能を身につけた人材の育成を目的としています。これらの知識や技能を身につけるために、3つのコース（生活健康学コース、スポーツ科学コース、臨床心理学コース）を設け、それぞれの視点からより深く研究教育を行います。高い専門性を保ちながら、幅広い視点で健康や生活のあり方について考え、よりよい生き方や環境のあり方を提案することにより社会に貢献できる人材を育成することを教育理念としています。

### 【求める学生像】

上記の教育理念にもとづき、心身健康学専攻は次のような資質および意欲をもつ学生を求めます。

- 身近な生活環境、社会環境、生活習慣と心身の健康との関連を深く探究しようとする学生。
- 個々の学問領域の基礎となる専門知識を有し、新たな認識・知識の獲得に意欲的な学生。
- 心と身体の健康に関する知識を総合的に学び、高度な専門的知識を再構築する意欲ある学生。
- 幅広い事業分野で専門職業人として、女性リーダーとして社会貢献を目指す学生。
- さまざまな分野で国際社会に貢献することを目指す学生。

### 【入学者選抜の基本方針】

上記の【求める学生像】で示す能力等を有する人を多面的・総合的に評価するため、コース毎に入學試験科目を設定します。

## (心身健康学専攻 生活健康学コース)

### 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

#### 【学位授与の前提となる教育理念】

生活健康学コースでは、生活環境と生活習慣と健康に関する幅広い知識を身につけ、論理的な考え方と科学的な根拠に基づいて人々の健康に貢献できる生活のあり方に関する研究や実践ができる人材を養成します。

#### 【身につけるべき力】

- ・生活環境、生活習慣と健康の関連に関して幅広い専門的な知識を身につけている。
- ・生活と健康に関する研究を推進するための科学的思考や方法論を身につけ、実践できる能力を身につけている。

#### 【学位授与の要件】

上記の資質を身につけ、所定の期間在学し、所定の単位を習得し、かつ必要な研究指導を受けたいうで修士論文の審査に合格した学生に修士の学位を授与します。

### 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

#### 【基本的なカリキュラム構造】

学生は履修系列として高度な専門能力を養成する専修系、広い視野を備えた人材を養成する複合系のいずれかを選択します。教養科目群では大学院生に必要な教養を培います。生活健康学コースで開講される講義・演習を通して専門性の高い教育が行われるとともに、修士論文の執筆にむけ、研究指導、執筆指導を行ないます。また、専攻の共通科目が開講され、全てのコースの人がこれを履修することにより心身の健康に関する幅広い知識を身につけることができますようにします。

#### 【教育の内容と方法】

本コースでは生活環境、生活習慣と健康の相互作用について理解するため、講義演習を通して生理学を中心として様々な分野から生体機能について学ぶとともに修士論文の作成に向けて研究を行います。これらを通して、健康に関する自然科学的専門知識を身につけ、論理的思考、研究能力を養い、健康で安全な生活につながる生活環境、生活習慣の創造と実践ができる高い応用力を身につけます。

### 【学習成果の評価】

授業形態に応じて、授業毎に設定された評価方法で評価を行います。評価の方法についてはシラバスに明示してあります。

## 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

### 【教育理念】

生活環境、生活習慣が生体機能に及ぼす影響について学び、健康で安全な生活の創造に役立つ知識と技能を身につけた人材を育成します。研究・教育を通じて科学的で論理的な考え方を身につけた応用力の高い人材の育成を行ないます。

### 【求める学生像】

- ・生活環境や生活習慣と生体機能との連関を探究しようとする学生。
- ・自然科学的な基礎知識、特に生理学、生化学、神経科学等の専門知識を有し、新たな認識・知識の獲得に意欲的な学生。
- ・心と身体の健康に関する知識を総合的に学び、高度な専門的知識を再構築する意欲ある学生。
- ・自らの研究を世界に発信する意欲ある学生。
- ・幅広い事業分野で専門職業人・研究者として、国内外で社会貢献を目指す学生。

### 【入学者選抜の基本方針】

#### 一般選抜

コースの専門分野から出題する「専門科目」の筆記試験、「英語」（TOEFL もしくは TOEIC）、および口述試験の成績、ならびに出身大学等の発行する成績証明書を総合して判定します。

#### 社会人特別選抜

コースの専門分野から出題する「専門科目」の筆記試験、「英語」（TOEFL もしくは TOEIC）、および口述試験の成績、ならびに出身大学等の発行する成績証明書を総合して判定します。

#### 外国人留学生特別選抜

コースの専門分野から出題する「専門科目」の筆記試験、「英語」（TOEFL もしくは TOEIC）、および口述試験の成績、ならびに出身大学等の発行する成績証明書および日本留学試験の成績を総合して判定します。

#### 6年一貫教育プログラム特別選抜

6年一貫教育プログラムにおける成績を用いた書類審査により判定します。

## (心身健康学専攻 スポーツ科学コース)

### 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

#### 【学位授与の前提となる教育理念】

スポーツ科学コースでは、スポーツ科学に関する高度な知識を基にし、社会に役立てるための論理的思考、実践的指導能力、リーダーシップ、事業運営能力、多世代にわたる対人コミュニケーション能力を身につけた人材を養成します。

#### 【身につけるべき力】

- ・スポーツ科学を構成する各分野・領域のみならず、親学問や周辺学問領域に関しても、高度な専門知識と社会で応用できる技能を身につけている。
- ・身体運動やスポーツをとりまく諸現象を、人文科学・社会科学・自然科学からの総合的・学際的なアプローチにより解明できる専門知識、問題設定能力、問題解決能力、及び説明能力を身につけている。

#### 【学位授与の要件】

上記の資質を身につけ、所定の期間在学し、所定の単位を習得し、かつ必要な研究指導を受けたいうで修士論文の審査に合格した学生に修士の学位を授与します。

### 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

#### 【基本的なカリキュラム構造】

学生は履修系列として高度な専門能力を養成する専修系、広い視野を備えた人材を養成する複合系のいずれかを選択します。教養科目群では大学院生に必要な教養を培います。スポーツ科学コースで開講される講義・演習を通して専門性の高い教育が行われるとともに、修士論文の執筆にむけ、研究指導、執筆指導を行ないます。また、専攻の共通科目が開講され、全てのコースの人がこれを履修することにより心身の健康に関する幅広い知識を身につけることができますようにします。

#### 【教育の内容と方法】

スポーツ科学に関する諸問題について多角的に捉え、学術理論と実践が一体となった研究・教育を行います。複数教員指導体制により、研究者、高度専門職業人など、幅広く社会に貢献できる人材を育成するために、スポーツに関する人文社会科学的側面、身体運動の生体反応・メカニズムに関する高度な専門知識・研究法を身につけ、論理的思考力、応用力、コミュニケーション力を養います。

## 【学習成果の評価】

授業形態に応じて、授業毎に設定された評価方法で評価を行います。評価の方法についてはシラバスに明示してあります。

## 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

### 【教育理念】

スポーツ科学の高度な専門的知識について学び、豊かな人間性とリーダーシップを備え、社会の発展に貢献できる人材を育成します。研究・教育を通じて科学的で論理的な考え方を身につけた応用力の高い人材の育成を行います。

### 【求める学生像】

- ・生活環境や社会環境と身体、運動、スポーツ行動との関連を探究しようとする学生。
- ・人文科学・社会科学・自然科学の学際的視点からスポーツ科学、体育学に関する専門知識を有し、新たな認識・知識の獲得に意欲的な学生。
- ・心と身体の健康に関する知識を総合的に学び、高度な専門的知識を再構築する意欲ある学生。
- ・スポーツ科学の専門職業人として、女性リーダーとなり社会貢献を目指す学生。
- ・スポーツ科学の専門家、研究者として、国内外での貢献を目指す学生。

### 【入学者選抜の基本方針】

#### 一般選抜

スポーツ科学の「専門科目」の筆記試験（英語を含む）、および口述試験の成績、ならびに出身大学等の発行する成績証明書、研究希望調書などを総合して判定します。

#### 社会人特別選抜

スポーツ科学の「専門科目」の筆記試験（英語を含む）、および口述試験の成績、ならびに出身大学等の発行する成績証明書および研究希望調書などを総合して判定します。

#### 外国人留学生特別選抜

スポーツ科学の「専門科目」の筆記試験（英語を含む）、および口述試験の成績、ならびに出身大学等の発行する成績証明書、研究希望調書、および日本留学試験の成績などを総合して判定します。

#### 6年一貫教育プログラム特別選抜

6年一貫教育プログラムにおける成績を用いた書類審査により判定します。

## (心身健康学専攻 臨床心理学コース)

### 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

#### 【学位授与の前提となる教育理念】

臨床心理学に関する高度な専門的知識や技能を身につけるとともに、それらを実践して実際の問題を解決できる能力を身につけ、こころの健康という観点から社会に貢献することができる人材を養成します。

#### 【身につけるべき力】

- ・こころの健康に関するさまざまな問題とその解決について、専門的な知識・技能を用いて対処できる能力を身につけている。
- ・深い人間理解に基づき、こころの健康の実現のため、自分で課題を発見し、主体的に取り組む姿勢を身につけている。
- ・他者・自己を理解する力、「聞く・伝える」といった基礎的な対人コミュニケーション能力を基礎とした心理学的援助者としての実践能力を身につけている。

#### 【学位授与の要件】

上記の資質を身につけ、所定の期間在学し、所定の単位を習得し、かつ必要な研究指導を受けたいうえて修士論文の審査に合格した学生に修士の学位を授与します。

### 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

#### 【基本的なカリキュラム構造】

1年生では専門的知識・技能を身につける講義や演習を中心に履修し、2年生はそれら知識や技能を実践に応用するための実習科目を中心に履修することで、専門的な知識、技能とそれを実践する力をバランスよく身につけることができるようになっています。

#### 【教育の内容と方法】

臨床心理学コースでは、心身の健康に関する科学的な知識を総合的に身につけ、さらに感受能力を磨いて人間理解の能力を身につけます。こころと身体の健康に関する系統的で幅広い知識を基礎として、人間存在を全体的な観点から捉えていく方法を身につけ、他者・自己理解力やコミュニケーション力を持つ、援助者として高度な実践能力を持つ人材を養成します。そのために、幅広い実践領域に対応した専門科目を設置するとともに、演習や実習を充実させています。

### 【学習成果の評価】

授業形態に応じて、授業毎に設定された評価方法で評価を行います。評価の方法についてはシラバスに明示してあります。

## 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

### 【教育理念】

大学教育で培ってきた臨床心理学に関する専門的な知識や科学的研究方法を基礎に、臨床心理学についてのさらに高度な専門性や実践力を身につけることで、こころの健康という観点から社会に貢献することができる人材を育成します。

### 【求める学生像】

- ・生活環境や社会環境と心の健康との関連を探究しようとする学生。
- ・臨床心理学に関する専門知識を有し、新たな認識・知識の獲得に意欲的な学生。
- ・心と身体の健康に関する知識を総合的に学び、高度な専門的知識を再構築する意欲ある学生。
- ・さまざまな分野における臨床心理学の専門職業人として、女性リーダーとなり社会貢献を目指す学生。
- ・心の問題の専門家、研究者として、国内外での貢献を目指す学生。

### 【入学者選抜の基本方針】

#### 一般選抜

臨床心理学の「専門科目」の筆記試験（英語を含む）、および口述試験、ならびに出身大学等の発行する成績証明書、研究希望調書などを総合して判定します。

#### 社会人特別選抜

臨床心理学の「専門科目」の筆記試験（英語を含む）、および口述試験、ならびに出身大学等の発行する成績証明書および研究希望調書などを総合して判定します。

#### 外国人留学生特別選抜

臨床心理学の「専門科目」の筆記試験（英語を含む）、および口述試験、ならびに出身大学等の発行する成績証明書、研究希望調書、および日本留学試験の成績などを総合して判定します。

#### 6年一貫教育プログラム特別選抜

6年一貫教育プログラムにおける成績を用いた書類審査により判定します。